

事業報告書 (HP公開用)

タイトル	木彫工芸「いじゅの会」&木彫・漆工芸「ゆん」作品展	
開催日時	平成30年1月10日(水)～14日(日) 10:00～18:00(最終日16:00)	
開催場所	沖縄県男女共同参画センターていりる ふれあいサロン (1F)	
主催	特定非営利活動法人あきみよ・木彫工芸「いじゅの会」	
共催	公益財団法人おきなわ女性財団	
後援	沖縄タイムス社・琉球新報社	
実施趣旨	当法人(NPO法人あきみよ)の工芸に取り組む作家及び団体の活動を支援する事業の一環として、公益財団法人おきなわ女性財団 講座等企画団体助成事業助成金を受けて、この展示会を開催する。 社会参画意識の高まりの中で、趣味としての「モノづくり」は心の豊かさや生きがいに繋がる学習として重要視されている。生涯学習の選択肢の一つとして、年齢や性別を問わずに取り組める「木彫り」(木彫工芸)を紹介することで、「手仕事」の魅力を伝えると同時に、モノづくりの現場で学習需要の機会や場を提供したいと望む工芸作家たちへの支援の一例とした。	
出展者	講師：兼次幸子(木彫・漆工芸「ゆん」主宰・沖縄県認定工芸士) 木彫工芸「いじゅの会」会員(金武教室・那覇教室から23名出展) ※詳細次頁	
実施内容	目 標	作品鑑賞とワークショップ(小品制作)を通して「木彫工芸」に興味を持ってもらうと同時に「手仕事」の魅力を伝え、「木彫り」を生涯学習の選択肢の一つとして意識するきっかけづくりの一助とする。
	展 示 概 要	木彫工芸の沖縄県認定工芸士で沖展賞受賞作家の兼次幸子氏を指導者として「木彫り」に取り組む「いじゅの会」会員の中から、金武教室8名、那覇(ウエルカルチャー)教室15名、計23名の珠玉作72点を、5日間に渡って展示紹介した。
	ワークショップ概要	生涯学習の選択肢の一つとして、「手仕事」の魅力を伝えることを目的に木彫り体験のワークショップを開催。「いじゅの会」会員を講師に、初心者でも彫りやすい桐材を使用して、沖縄の花「ハイビスカス」を彫り、キーホルダーを制作、大人から子どもまで幅広い年代層が参加した。体験料・材料費無料、制作時間40分程度、定員50名(各日10名×5日)、開催時間10:30～17:00(最終日15:00)、連日好評で参加希望者が当初の予定人数50名を超えたため、追加対応した(参加者総数：54名)
	来場者数	221名(男性：89名、女性：132名)※ワークショップ参加者54名

<講師>

兼 次 幸子：あやめのレリーフ・木彫朱漆のボンボン入れ

<金武教室 8名>

松田和子：薔薇の掛け鏡・お盆セット
 クレマチスのフラワーボックス
 新里洋子：牡丹の文箱・マーガレットの弁当箱
 ノウゼンカズラの箱・ゴーヤのレリーフ
 杉本ミヨ子：牡丹のティッシュボックス・小花の手鏡・お雛様
 山口悦子：椿の菓子器・豆の木の調味料入れ
 山宮悦子：花の菓子器・椿の鉛筆立て
 上原久枝：ハイビスカスの掛け鏡・ミンサー模様の弁当箱
 比嘉悦子：小花のミニトレイ
 小橋川章子：牡丹のレリーフ・薔薇のレリーフ・葡萄の額縁
 かごの中の花レリーフ・花菖蒲のレリーフ

<那覇(ウエルカルチャー)教室 15名>

照屋盛人：花の小皿・ハンキングヘルコニアのレリーフ
 漢那憲次：レリーフ(内緒よ!)・レリーフ(凝視)
 レリーフ(育む)・お盆セット・小皿セット
 レリーフ(今だ!ダッシュ)・菓子器(蘭の花)
 菓子器(森林の妖精)
 与那城サチ子：薔薇とパンジーの屏箱・月桃のレリーフ
 花のスリッパ立て
 山田義幸：アングマのレリーフ・シーサーのレリーフ
 葡萄の掛け鏡
 玉城紀子：葡萄の調味料入れ・薔薇のレリーフ
 葉鶏頭の額縁・アマリリスのレリーフ
 丸皿セット・アクセサリー各種
 伊佐麗子：葡萄の飾り椅子・チューリップの掛け鏡
 山由美子：野牡丹の鉢入れ・葉っぱの小皿・硯置き台
 山尚美：葡萄のレリーフ・菖蒲のレリーフ
 富山美智子：アカンサスのコートハンガー・月桃の掛け時計
 屋良倫子：紫陽花のティッシュボックス・牡丹の菓子器
 木彫りのペンダント・百合と向日葵のミニ鉢
 羽子板・ガーベラのティッシュボックス
 富山美智子：薔薇の掛け時計・刻字(ちゃあかりゆし)
 椿のレリーフ
 野村朝英：菖蒲の灯籠・月桃の掛け時計
 仲由信：薔薇の掛け時計・菖蒲の書道箱
 大城一郎：花のレリーフセット・芥子のレリーフ
 屋良弘子：紫陽花のティッシュボックス
 ハイビスカスのレリーフ

実施内容

出品者名簿
展覧者名簿
出展作品

主催者所見

開催場所が会員の居住地から遠隔地にあるため、来場者が少ないのではないかと危惧したが、連日35名~50名が来場。来場者総数221名(男性89名、女性132名)、来場者の男女比は出展者同様、男性4割、女性6割であった。ワークショップ(木彫り体験)には、予定50組を上回る54組が参加。大人から子どもまで幅広い年齢層の参加者が、ハイビスカスのキーホルダー作りを通して、手仕事の楽しさと作品を完成させる喜びを体感した。この展示会を通して、新たな趣味のひとつとして木彫りに興味を持たれた方が散見されたことを嬉しく思う。

来場者総数 221名
 男性 89名
 女性 132名

ワークショップ
 参加者総数 54名

木彫り体験 制作作品



ハイビスカスのキヌメダラー

展示会準備 (1/9)



会場設営①



会場設営②



会場設営③



会場設営④



会場完成

- 出展者数 23名
- 金武教室 8名
- 那覇教室 15名
- 出展作品数 72点

展示会 (1/10～1/14)



オープセレモニー



会場の様子①



会場の様子②



会場の様子③



会場の様子④



会場の様子⑤



ワークショップの様子①



ワークショップの様子②

展示会閉幕 (1/14)



閉幕セレモニー①



講師 兼次幸子氏



10年以上の会員



片付けの様子